

釣川堤防遊歩道への提案

宗像市赤間駅付近を流れるの二級河川釣川の左岸は、赤間大橋より上流へ約 2.5km 区間遊歩道として整備されている。本文はこの遊歩道に対しての提案である。

福岡市と北九州市のほぼ中間に位置する宗像市に、昨年4月引っ越してきた。職場は、北九州市内にあり、朝夕、釣川の遊歩道を徒歩で赤間駅まで通勤している。赤間駅まで約 1.5km あり、約 30 分を要する。そのうちの約半分 800m 区間釣川の遊歩道を利用している。

遊歩道は、幅約 10m 程度と広く、約 5m がインターロッキング や粒状舗装で、残りが土のままである。また路側には桜の木が植えられており、桜の季節には見事なものであろうと楽しみである。ベンチも整備されており、季節の花も植えられている。数カ所公園もあり、地域住民の憩いの場としてよく整備されていると感じている。街灯も整備されているため、夜間の利用も可能である。

私はここを通勤に利用しているが、早朝、夕刻、夜間等ウォーキングを楽しんでいる人、ジョギングをしている人、通学の学生等に出会う。車の通行がなく安全ということもあり利用者は多い。私も日常生活の運動不足解消のため徒歩通勤を始めたが、遊歩道はよく整備されているため 30 分の徒歩も短く感じられる。往復約一時間の歩行であり、健康増進、気分転換にもなっている。

釣川の遊歩道は“釣川桜つつみモデル事業”として体系的に整備されており、利用者も多く、地域住民の生活になじんできている。しかしまちづくりはより住み易く楽しい生活環境をめざし、これで完成ということではなく、日常の努力、反省、改善も必要と思われる。また歩くと言うことは、単に空間を移動するといった物理的なことのみでなく、歩く楽しみ、喜び、健康といった肉体的や、精神的観点からもその価値観を考えるべきである。

そういった観点から、釣川遊歩道に対する感想、提案等を以下述べてみたいと思う。

< 感想 >

- ・朝のウォーキングを楽しむ人、通勤通学の人と利用者が多く、よく整備された環境である。
- ・歩道が広く開放感があり、歩行するに快適である。
- ・桜の木、草花等の植栽があり、周辺は田園地帯のため、自然環境にすぐれる。またベンチや、彫刻等のモニュメントもあり、憩いの場となっている。
- ・清潔感があり、老人や弱者にも利用しやすい環境である。

これから季節が良くなり、また桜の花が咲いたりすれば、すばらしい景色が見られると思われる。この環境は、守り育てて行かなければならない。またさらに魅力的な環境にするためには、いろいろ工夫改善していくことも必要と思われる。

< 提案 >

- ・遊歩道のテーマとして桜並木を主題としているが、冬、秋もイメージし、あわせて、梅や銀杏、紅葉等を植栽したら、四季折々楽しめると思う。
- ・一部幅員が狭くなり、植栽や街灯が無いところがある。夜間の利用の際、安全面にも問題があり、心理的にも不安であり、改善が望まれる。
- ・路面は、インターロッキング、粒状舗装がなされているが、粒状舗装は歩行やジョギング、自転車の通行等に適していないように思われる。これは、今後他地区での計画の際の参考にしてもらえればと思う。
- ・北九州の遠賀川の河川敷には、春には菜の花が美しいと聞く。ここ釣川の護岸にも菜の花を植えたかどうかを考える。
- ・季節の鳥が見られるような植栽や環境を整備する。

宗像市の住民となり、まだ1年たたない。宗像市は自然環境に恵まれ、交通の便も良く住み易く将来発展性のある都市であると感じている。本提案書は当地での在住期間がまだ短く、エリアを熟慮する時間もなかったため、日常漠然と感じていたことの一部を記述した。こんな機会がなければ、まちづくりについて考えることはないが、より住み易い環境を考えることは、大切なことである。提案が実現するかしないかはわからないが、一人一人が皆希望したら、それは間違いなく実現すると思う。今後自分が一生住み、お世話なるであろうこのまちを、いろいろ考え大切にしたいと思う。